

平成29年度

【第1回：市政モニターアンケート】

調査結果報告書



市長公室 市民の声を聞く課

1. 調査の目的

この調査は船橋市の「健康ポイント事業」「家庭からでるごみ」について、広く市民の方々の意識や要望等をお伺いし、市民のニーズを把握、分析することにより、今後の施策に反映することを目的としています。

2. 調査方法

- ・調査区域 船橋市全域
- ・モニター数 279人
- ・調査期間 平成29年6月9日（金）～ 6月23日（金）
- ・調査対象者 市政モニター
- ・実施方法 郵送配付／郵送回収

3. アンケートの回収結果

- ①モニター数 279人
- ②有効回収数 257人（有効回答率 92.1%）

4. 集計にあたって

◇調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表わし、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表記しています。このため、単数回答の合計が100.0％を上下する場合があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問（複数回答）では、回答率は100.0％を上回る場合があります。

◇本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。

◇文中の〈n〉「有効回答者数」、〈SA〉「単数回答」、〈MA〉「複数回答」を表しています。

5. 回答者のプロフィール

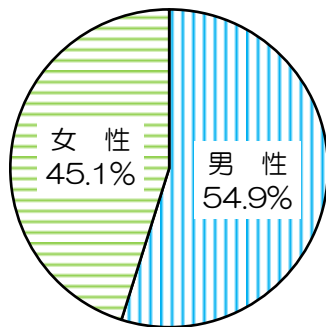
(1) 性別 n=257人

性別	回答数	構成比（％）
男性	141人	54.9%
女性	116人	45.1%

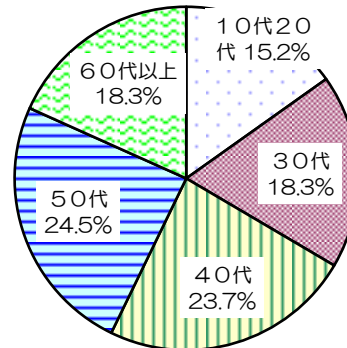
(2) 年代 n=257人

年代	回答数	構成比（％）
10代20代	39人	15.2%
30代	47人	18.3%
40代	61人	23.7%
50代	63人	24.5%
60代以上	47人	18.3%

(1) 性別



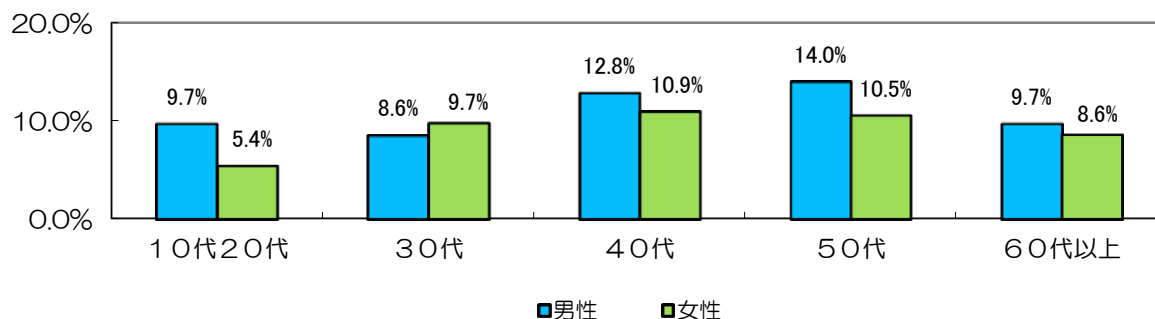
(2) 年代



(3) 年代（性別） n=257人

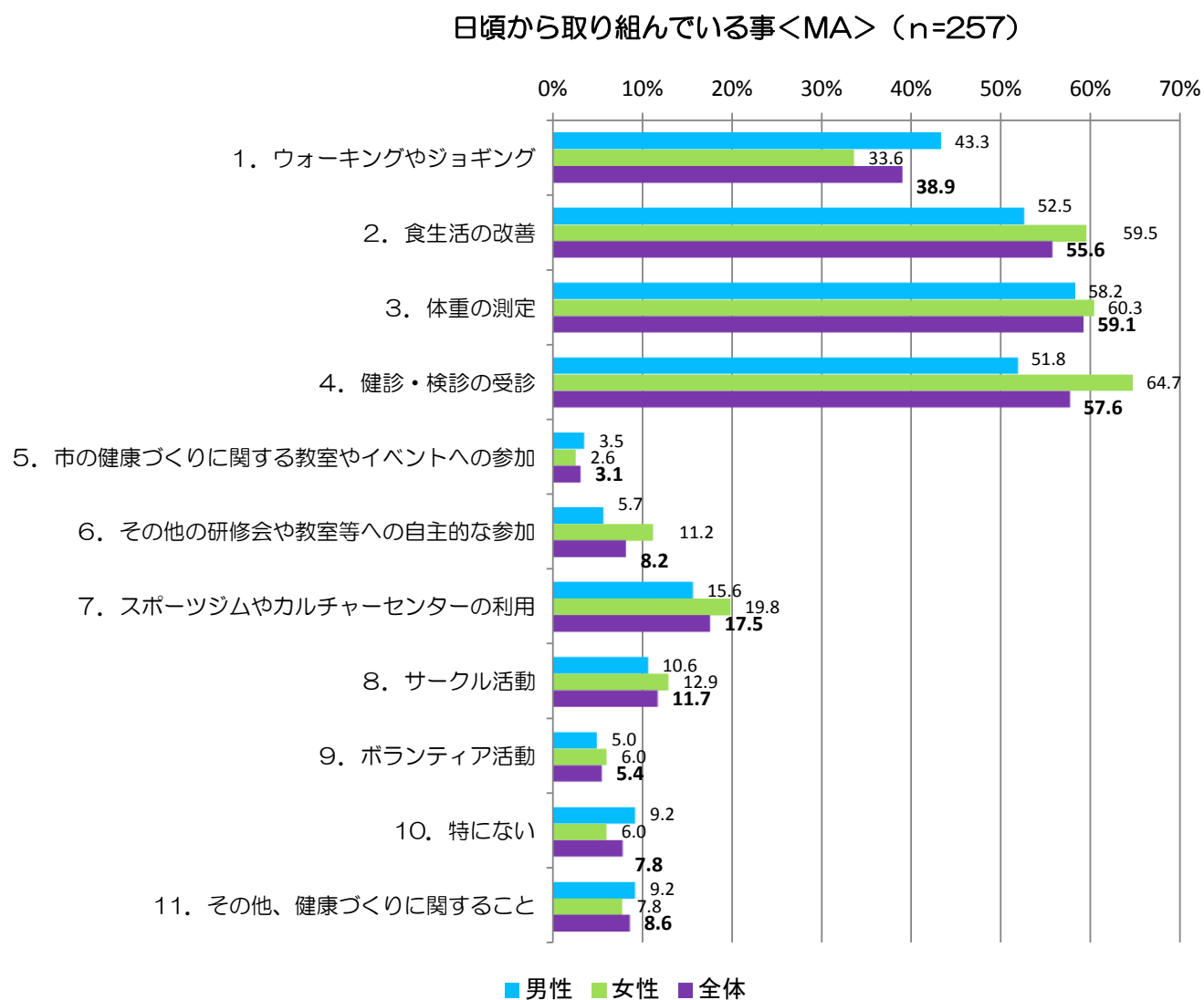
	回答数		構成比（％）	
	男性（人）	女性（人）	男性	女性
10代20代	25人	14人	9.7%	5.4%
30代	22人	25人	8.6%	9.7%
40代	33人	28人	12.8%	10.9%
50代	36人	27人	14.0%	10.5%
60代以上	25人	22人	9.7%	8.6%

(3) 年代（性別）

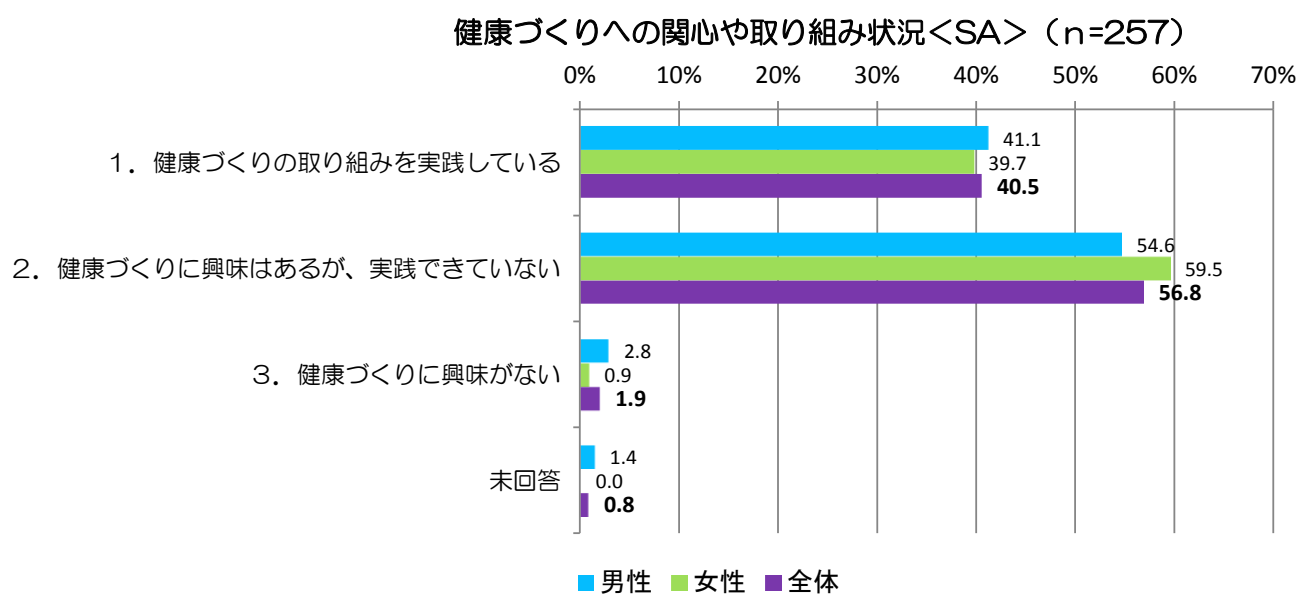


【健康ポイント事業について】

【問1】あなたが日頃から取り組んでいることを教えてください。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

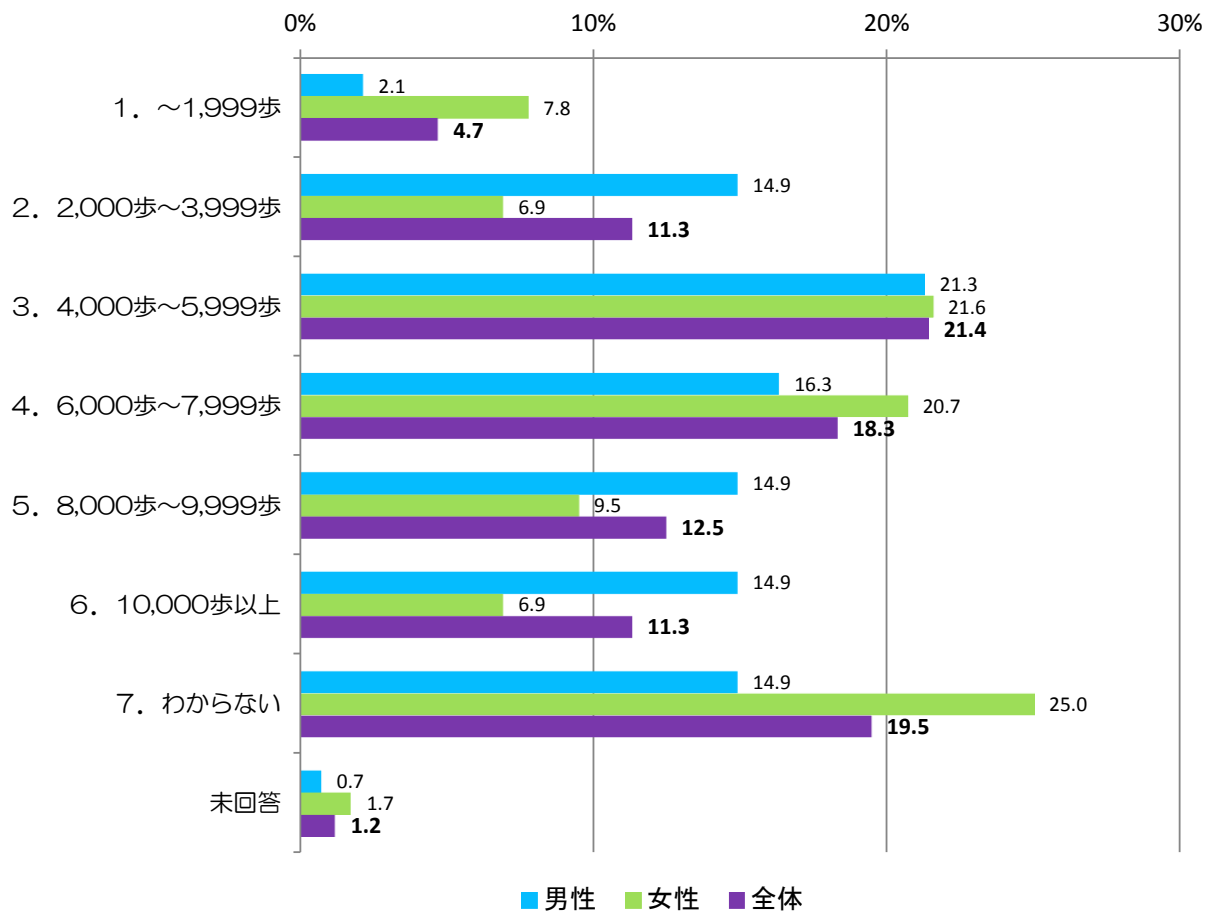


【問2】あなたの健康づくりへの関心や取り組み状況について教えてください。次の中から1つだけ選んでください。



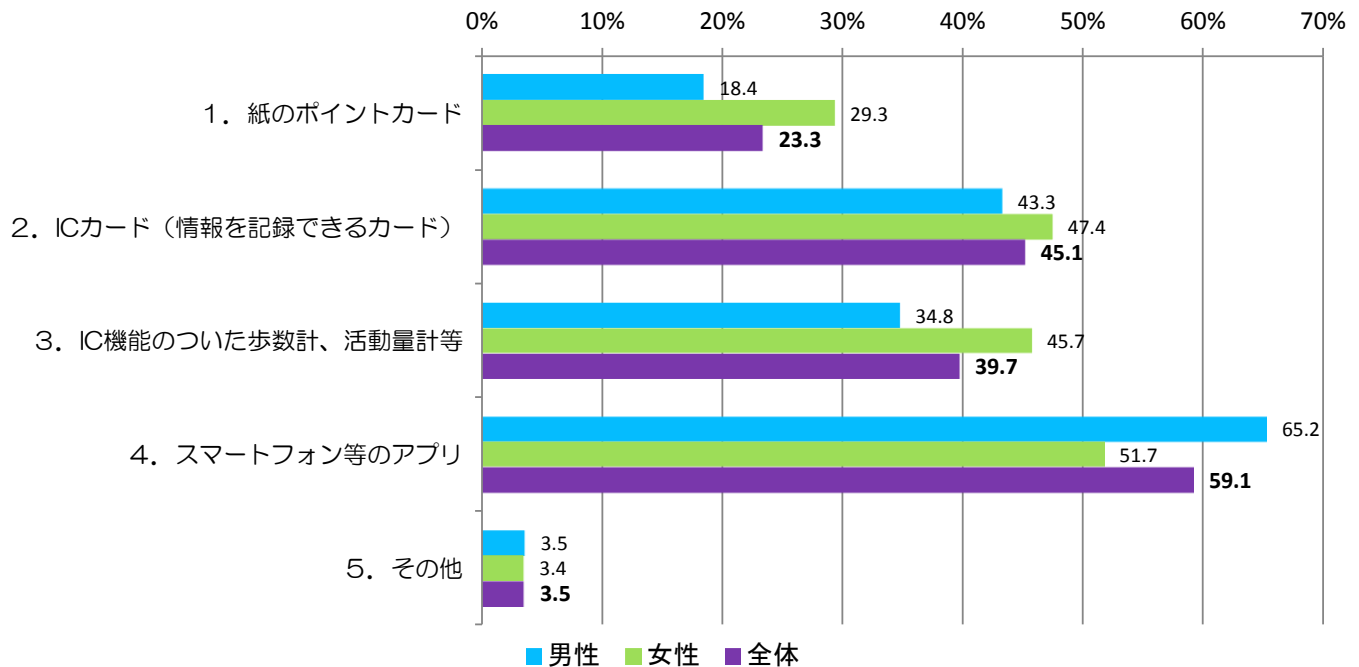
【問3】あなたの1日あたりの平均歩数をわかる範囲で教えてください。次の中から1つだけ選んでください。

1日当たりの平均歩数<SA> (n=257)



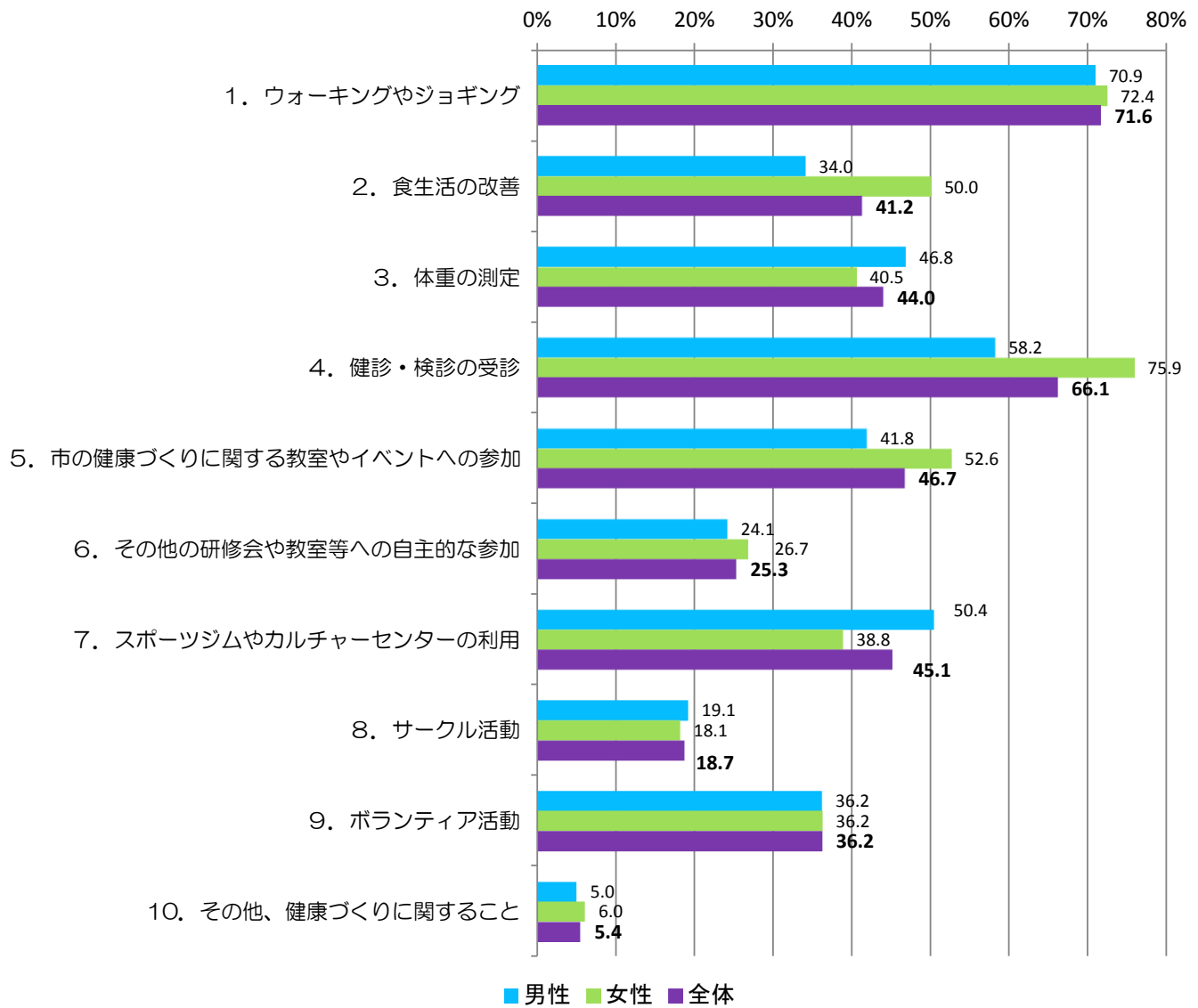
【問4】健康ポイントを貯めるツールとして、どのようなものが利用しやすいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

ポイントを貯めるツール<MA> (n=257)



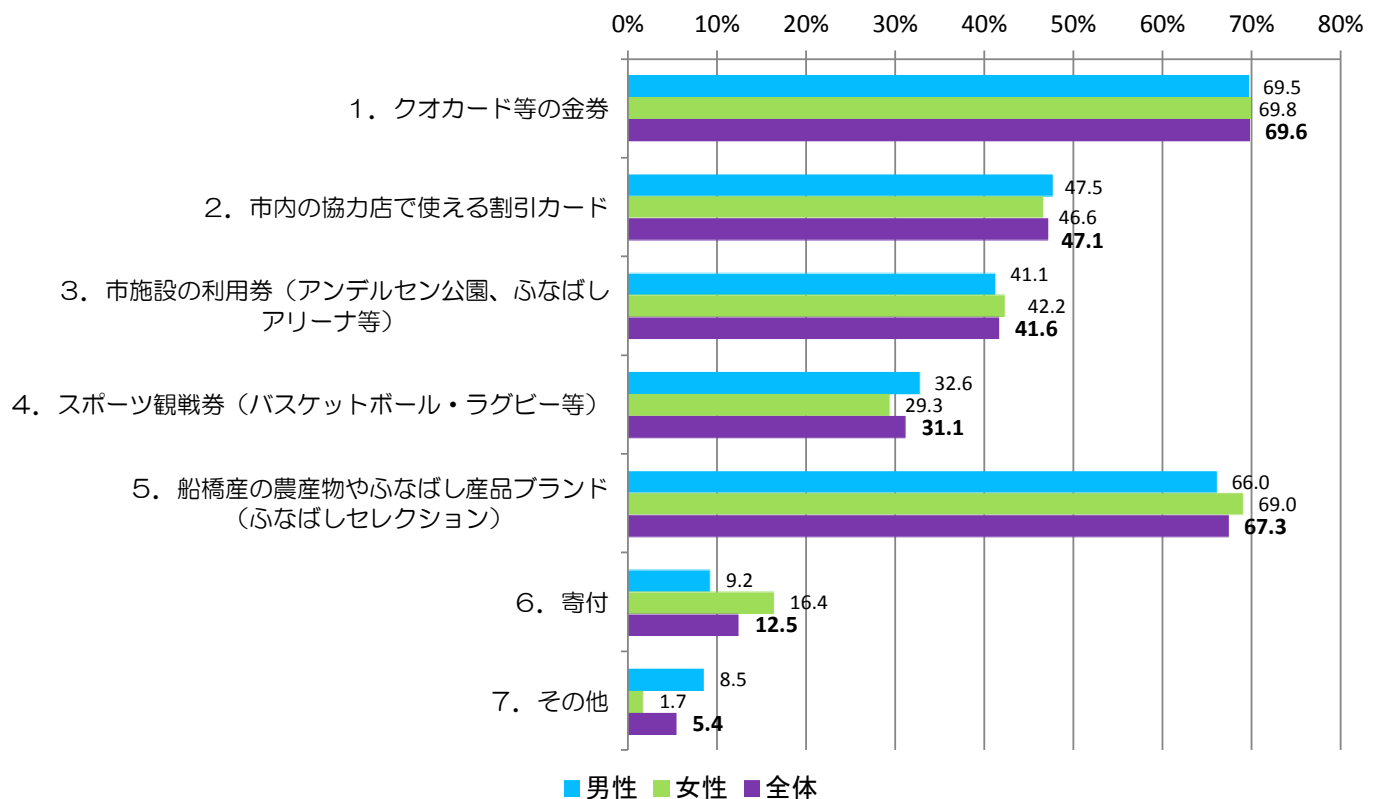
【問5】ポイントが付与される対象について、良いと思うものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

ポイントが付与される対象<MA> (n=257)

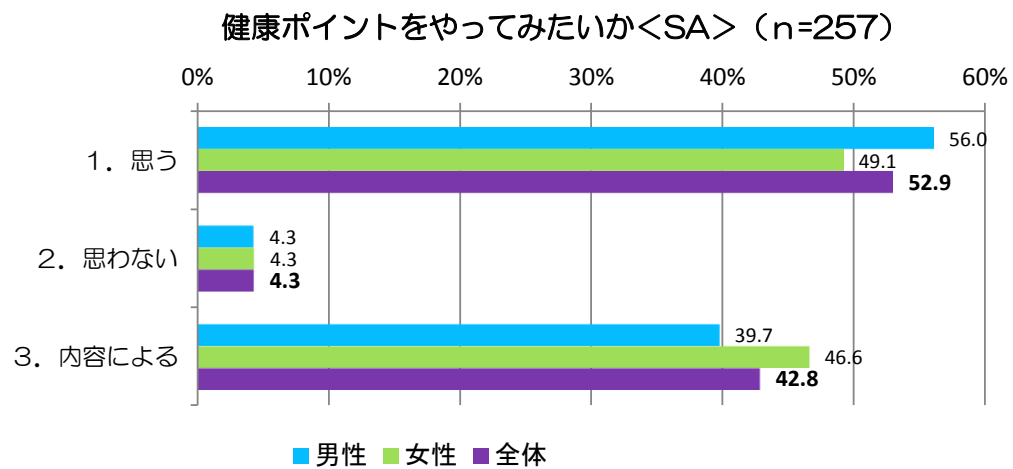


【問6】特典は何が魅力的だと感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

魅力的な特典<MA> (n=257)



【問7】船橋市で「健康ポイント制度」が導入された場合、やってみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

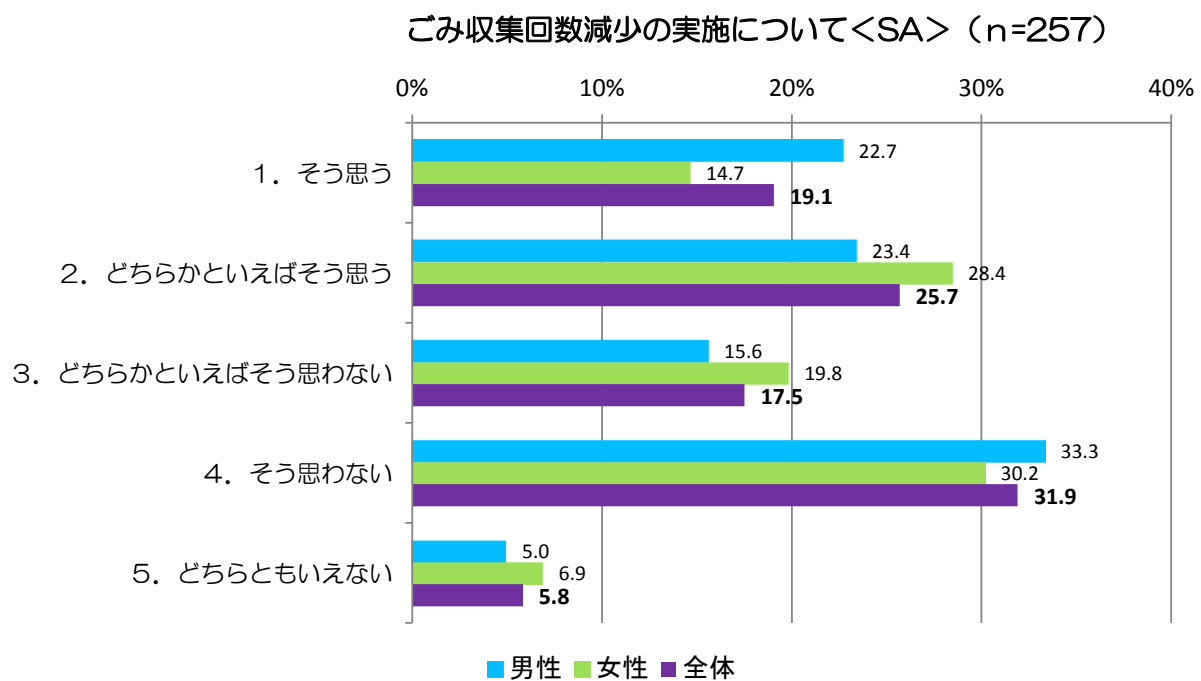


【家庭からでるごみについて】

◆家庭からでる可燃ごみの収集回数の見直しについて

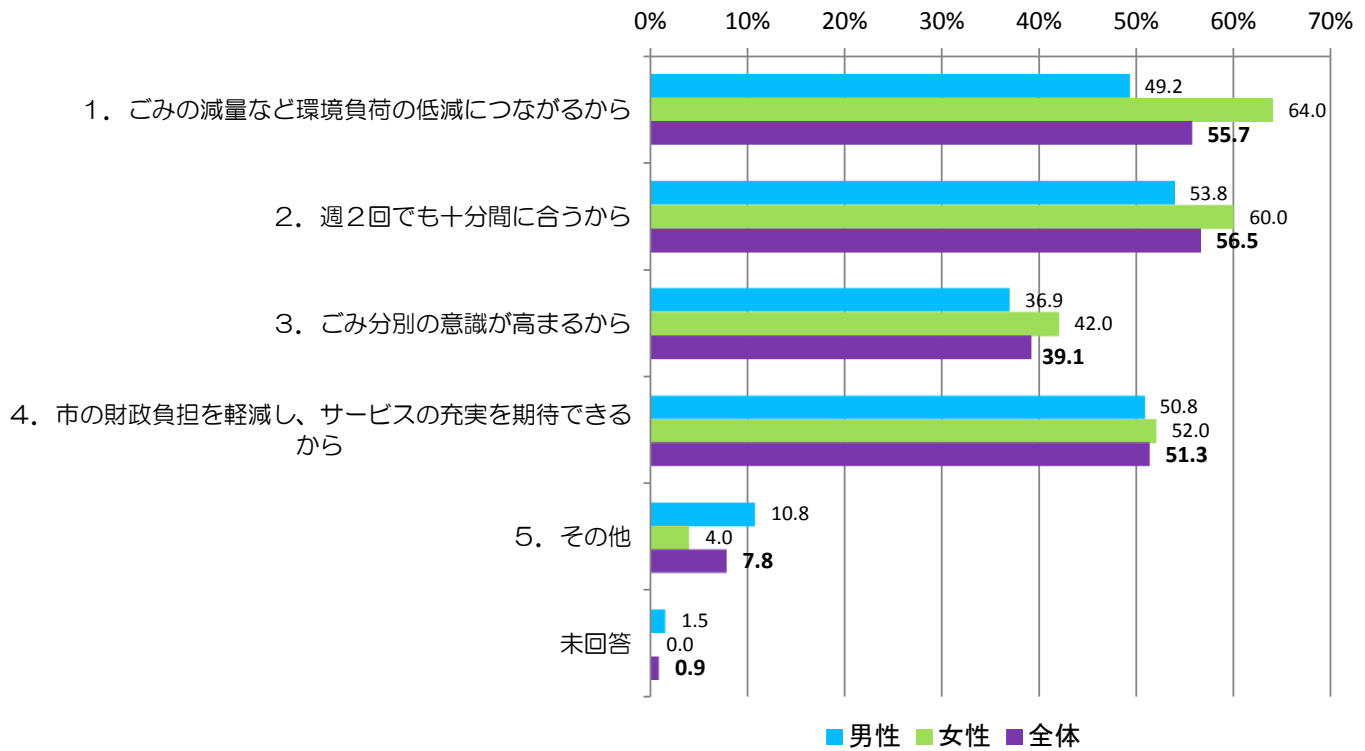
本市における1人1日当たりの家庭からでる可燃ごみの排出量523g（自己搬入は含まない）は、千葉県内及び中核市の平均との比較では40～60g多く、同等（500～550g）の排出量の市町村の8割、本市を除く関東圏のすべての政令市・中核市が週2回の収集となっています。
（平成26年度一般廃棄物処理実態調査結果）

【問8】収集回数を週3回から週2回に見直すことで、ごみ出しの一回の量が増えることが予測されますが、ごみの減量や資源化への意識が高まり、環境負荷の低減やごみ処理経費の削減につながり、ごみ出し支援サービスの向上などが期待できます。あなたは「家庭からでる可燃ごみの収集回数を週3回から2回へ見直すこと」を実施した方が良いと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



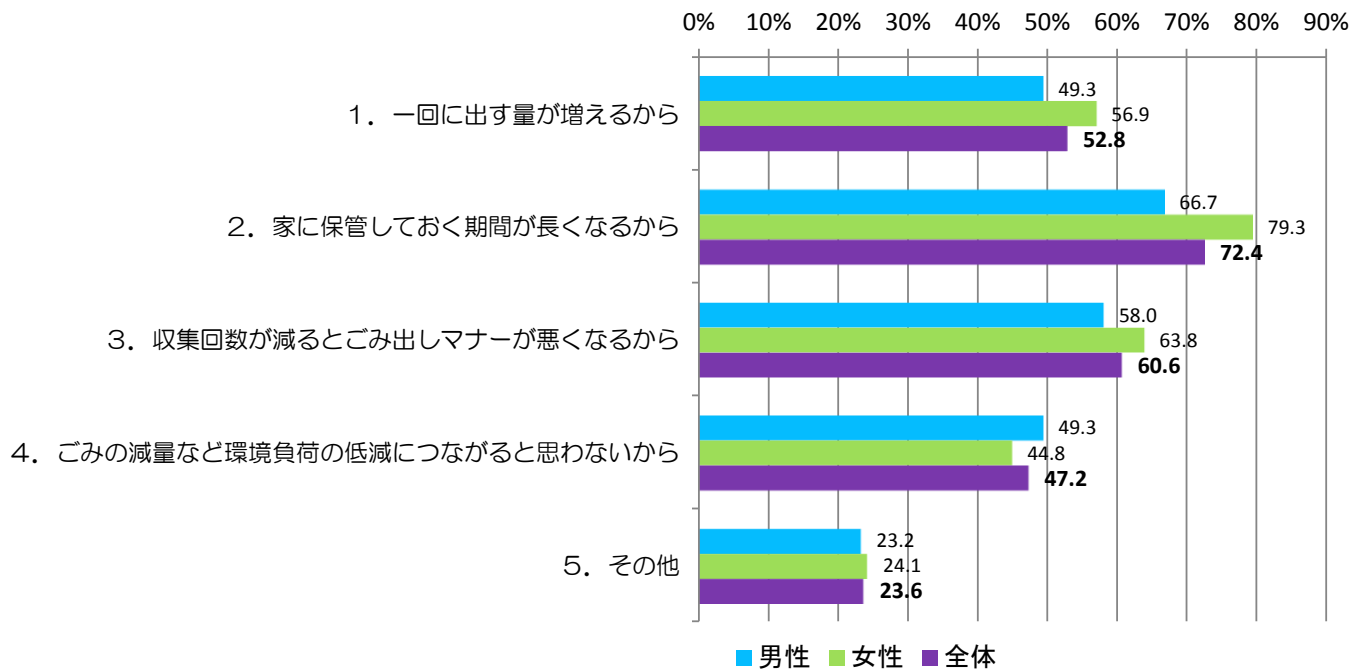
【問8-1】【問8】で「1. そう思う」または「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

ごみ収集回数を減らした方が良い理由<MA> (n=115)



【問8-2】【問8】で「3. どちらかといえばそう思わない」または「4. そう思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

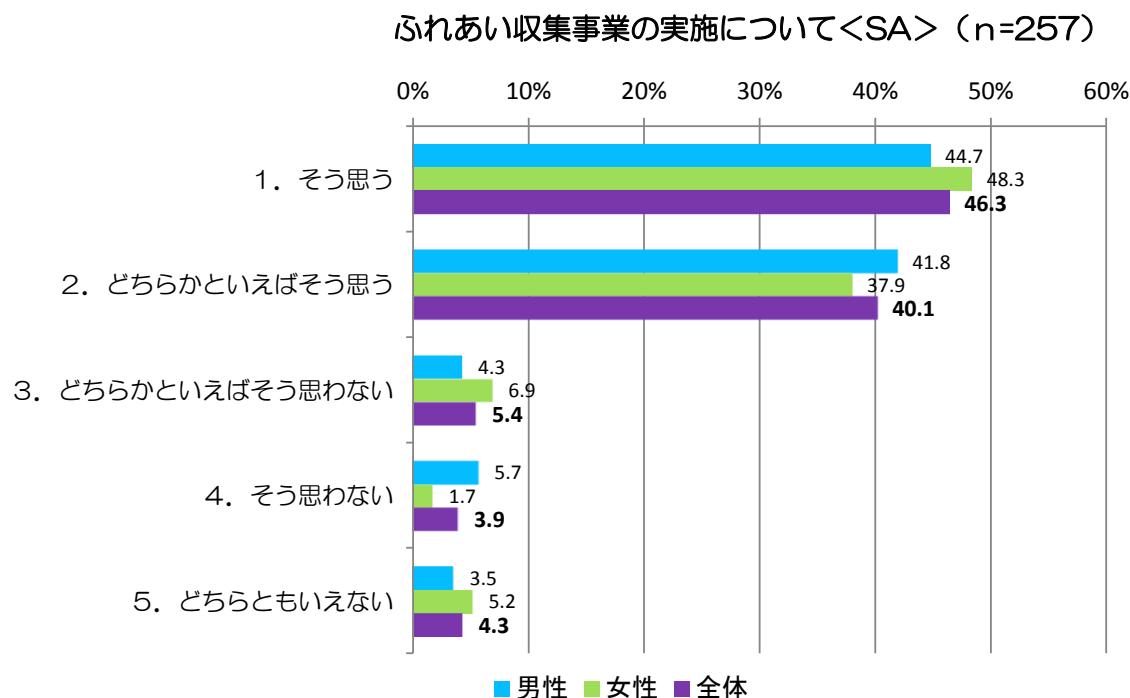
ごみ収集回数を減らさない方が良い理由<MA> (n=127)



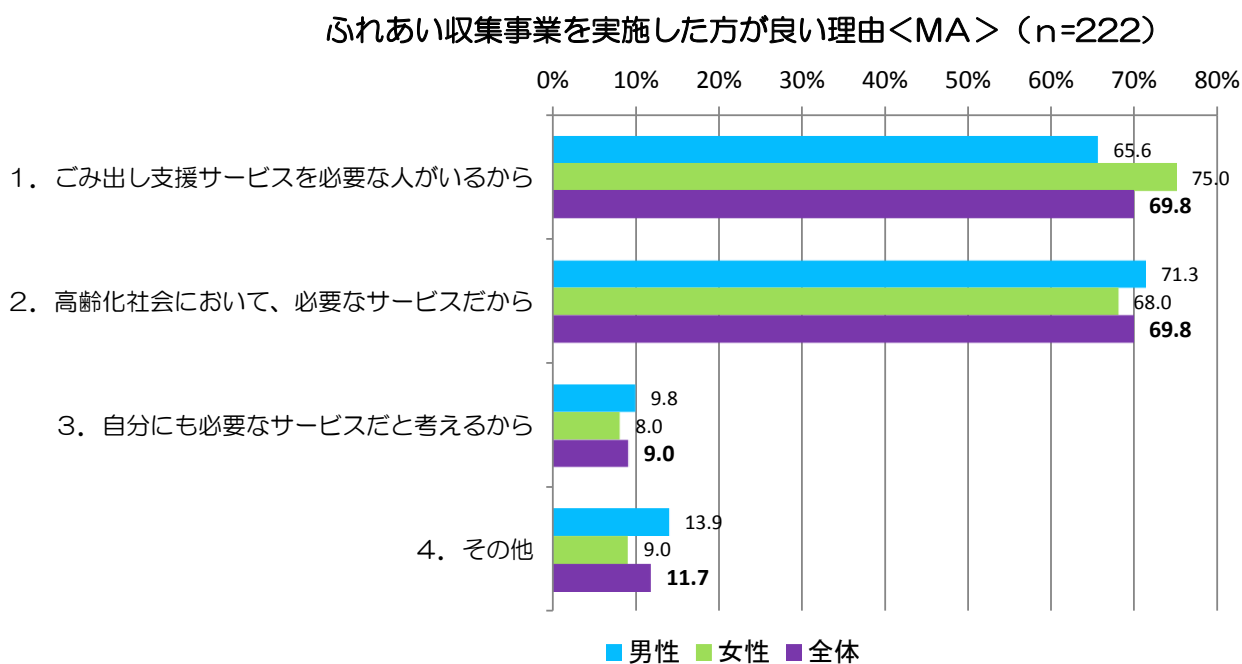
◆ふれあい収集事業について

ひとり暮らし高齢者が増える予測から、市では現在、ひとり暮らし高齢者でゴミ収集ステーションまでゴミを出すことが困難な方を対象としたゴミ出し支援サービス（ふれあい収集）の実証事業を実施しており、今後、高齢者、障害者等へのゴミ出し支援サービスはますます重要度を増すと考えられます。

【問9】あなたは「ふれあい収集事業」を実施した方が良いと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

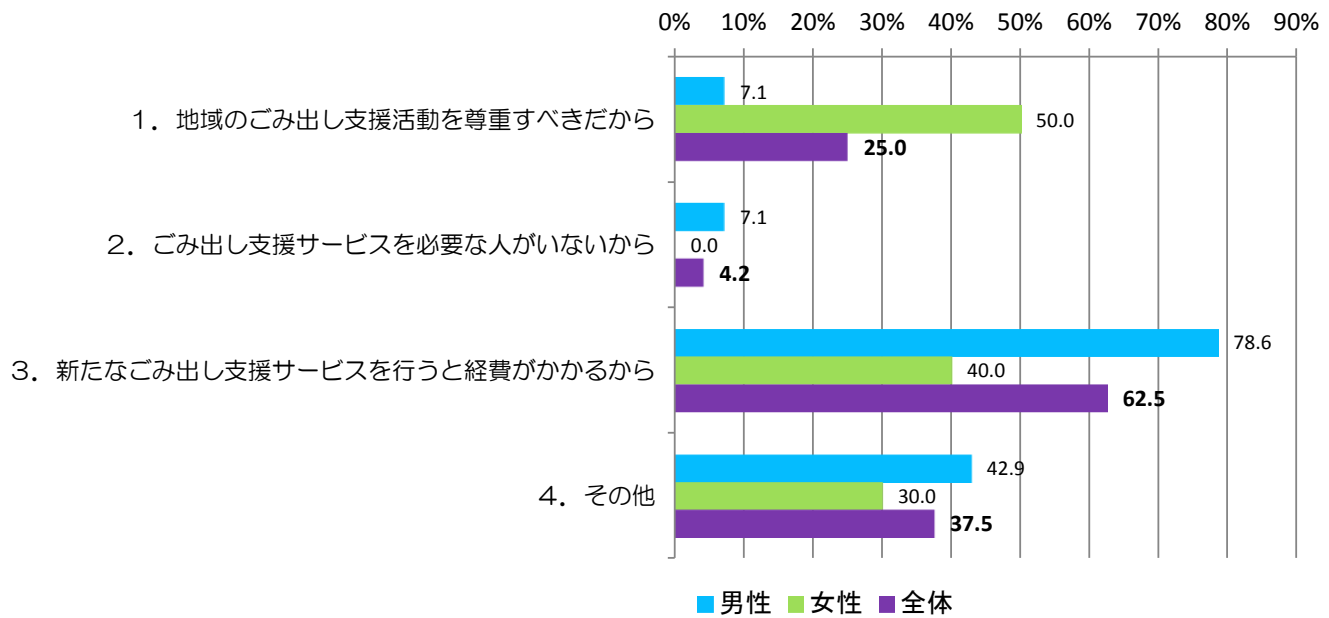


【問9-1】【問9】で「1. そう思う」または「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



【問9-2】【問9】で「3. どちらかといえばそう思わない」または「4. そう思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

ふれあい収集事業を実施しない方がよい理由<MA> (n=24)

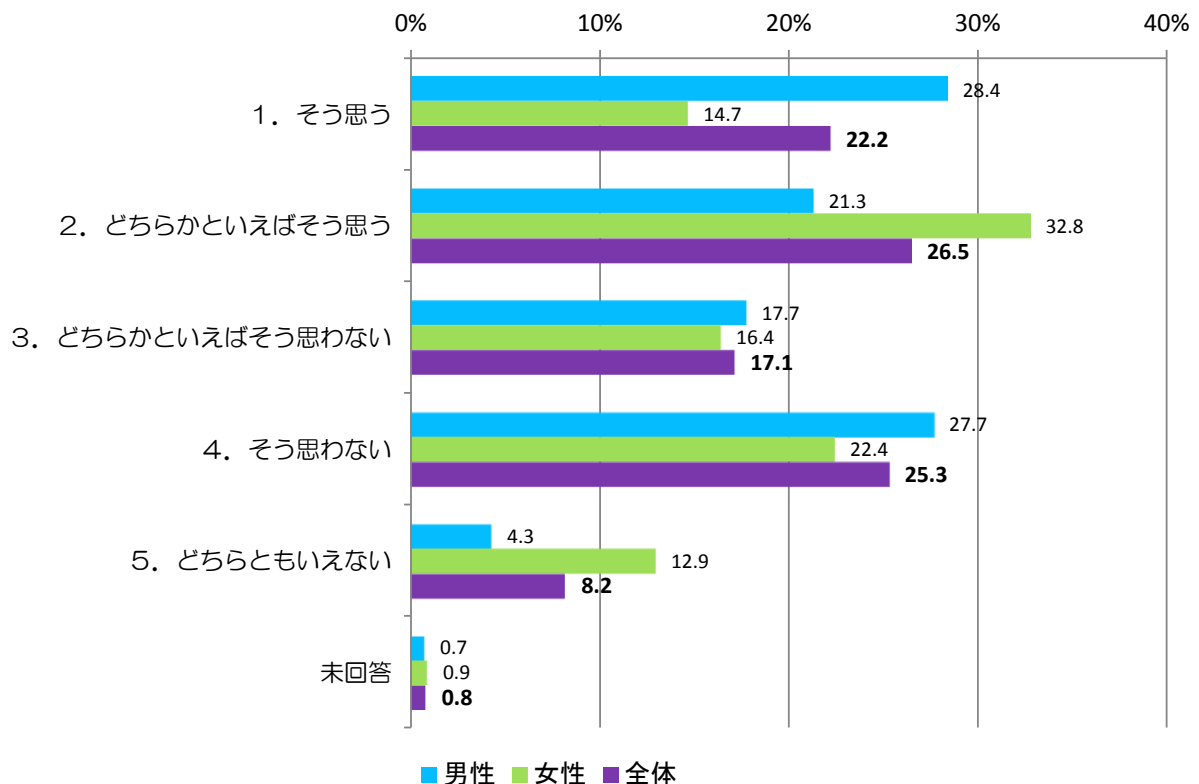


◆家庭系ごみ有料化について

家庭系ごみ（家庭からでる可燃ごみ・不燃ごみ）有料化は、ごみ処理経費の一部を指定ごみ袋の料金に上乗せして販売する仕組みで、千葉県内では66.7%（36/54市）の自治体を実施しており、ごみの減量の努力が負担額に反映し、公平化される制度です。千葉県内で実施している自治体で販売されている指定袋は1リットル当たり1円程度（本市の指定袋の市場価格の約2倍～4倍）の料金となっています。

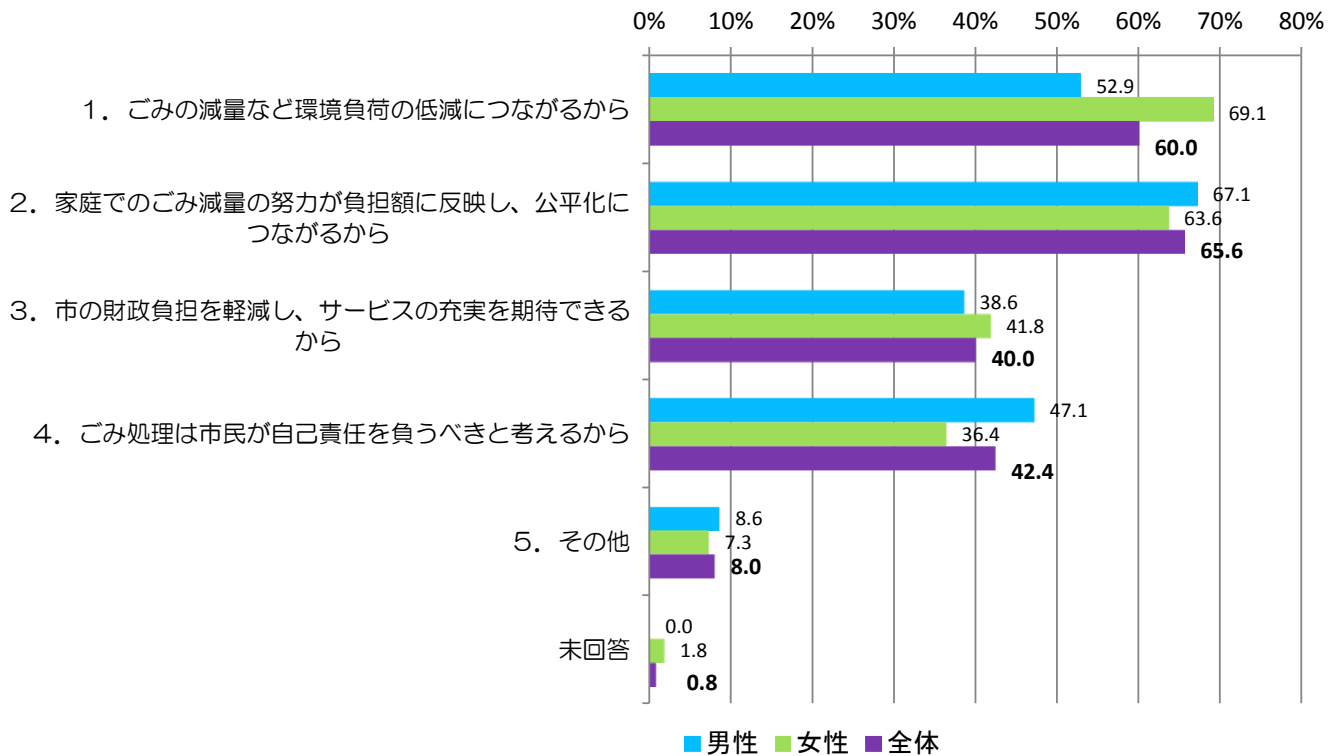
【問10】有料化により、経済的な負担が増えることとなりますが、ごみの分別の徹底につながることで、ごみの減量及び資源化、環境負荷の低減やごみ処理経費の削減が期待されます。あなたは「家庭系ごみ有料化」を導入した方がよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

家庭系ごみ有料化実施について<SA> (n=257)



【問10-1】【問10】で「1. そう思う」または「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

家庭系ごみ有料化を導入した方が良い理由<MA> (n=125)



【問10-2】【問10】で「3. どちらかといえばそう思わない」または「4. そう思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

家庭系ごみ有料化を導入しない方が良い理由<MA> (n=109)

